

(案)

伊勢志摩国立公園ビジョン検討・作成にむけたアンケート調査 及びワークショップメンバー推薦について（協力依頼）

令和 6 年 ● 月

伊勢志摩国立公園地域協議会事務局

日頃より国立公園の管理運営にご協力頂いており、誠にありがとうございます。
お手数をお掛け致しますが、標記についてご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

<アンケート調査>

1. 調査の目的

国立公園の保全活用に関する地域の状況や課題は変化しており、国立公園としての資質や魅力の保全、適切な利用の推進を図るためには、多様な関係者との連携が不可欠です。連携を進めるにあたり、国立公園の目指すべきビジョンを地域の皆様と検討し、共有していくことが必要です。

伊勢志摩国立公園地域協議会では「ステップアッププログラム 2025」による取組を進めており、次期プログラム「SUP2030」の改定も間近となっています。また、令和 8 年度には国立公園指定 80 周年も控えています。このような機会を捉え、当該公園における各種取組みを地域の皆様と連携して進めていくため、今年度、伊勢志摩国立公園ビジョン※を検討・作成する予定です。

つきましては、当地域で活発に取組を行っている多様な立場（行政、自治体、民間団体、一次産業関係者等）の皆様がお考えの、当地域の変化、現状、課題、希望の将来像などを把握し、その結果を踏まえて伊勢志摩国立公園ビジョンの検討・作成に取り組みたいと考えています。

ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

2. 調査方法

下記のいずれかにてアンケートにご回答ください。

- ① ウェブフォームでの回答（右の QR コード）
- ② メール又は FAX での回答
- ③ 書面での回答（返信用封筒をご利用ください。）



↑回答フォーム

※当アンケートに既にお答えいただいた方は、改めて回答いただく必要はございません。

※回答いただいた内容は、会議資料や報告資料に活用させていただきます（どなたでも見られる内容となります）。
公開する資料では、回答者が特定されないよう整理しますが、非公開を強く希望される場合は、その旨お知らせください。

3. 回答締め切り

お忙しいところ恐縮ですが、**【2024年〇月〇日（〇）まで】**にご回答ください。

○本調査の趣旨目的に関するお問い合わせ 伊勢志摩国立公園管理事務所 柘植（つげ） 電話：0599-43-2210 メール：NORIE_TSUGE@env.go.jp	○アンケート返送先 （事務局）株式会社一成 廣井（ひろい） 電話：079-428-0682 FAX：079-428-2427 メール：k_hiroi@issei-eco.com
---------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

(案)

<ワークショップメンバー推薦について>

1. 目的

伊勢志摩国立公園ビジョンは、ワークショップにより検討を重ねて案を作成する予定です。

検討に当たって新しい視点を取り入れたいため、検討メンバーには『伊勢志摩の未来を考えて強い信念を持って取り組んでいる』『伊勢志摩の将来を担う』人』に入っていただきたいと考えております。

地域協議会構成員の皆様におかれましては、日頃のネットワークや情報を活用いただき、ワークショップメンバーとして伊勢志摩国立公園ビジョンと一緒に考えていただける『伊勢志摩の未来を考えて強い信念を持って取り組んでいる』『伊勢志摩の将来を担う』人を推薦いただきますようお願いいたします。

なお、被推薦者は、貴所属団体等の職員でも、そうでなくても結構ですので、地域のことを考えて検討いただける方を、地域協議会構成員として推薦いただきますようお願いいたします。できましたらどなたか推薦いただけるとありがたいのですが、該当する方がいらっしゃらない場合にはその旨ご回答ください。

どうぞよろしくをお願いいたします。

2. 方法

下記のいずれかにてご回答ください。

- ① メール又はFAXでの回答
- ② 書面での回答（返信用封筒をご利用ください。）

3. 回答締め切り

お忙しいところ恐縮ですが、【2024年〇月〇日（〇）まで】にご回答ください。

○趣旨目的に関するお問い合わせ	○返送先
伊勢志摩国立公園管理事務所 柘植（つげ）	（事務局）株式会社一成 廣井（ひろい）
電話：0599-43-2210	電話：079-428-0682 FAX：079-428-2427
メール：NORIE_TSUGE@env.go.jp	メール：k_hiroi@issei-eco.com

(案)

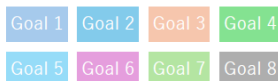
※参考：伊勢志摩国立公園ビジョンとは？



《伊勢志摩国立公園ビジョン》とは？

- 指定80周年を前に、90周年、100周年に向けて伊勢志摩国立公園の目指す姿を示す宣言のようなものを想定
- よりよい未来を築くため、これからの伊勢志摩国立公園が目指す姿をわかりやすくとりまとめたもの
- 伊勢志摩国立公園に関わる人の想いをとりまとめ、地域に浸透していくようなものにした
- 中長期的な視点に立ち、国立公園の望ましい姿、提供すべきサービス、公園の価値や 保全・利用の目標を地域の人々にとってわかりやすく示したものを検討

イメージ



- ビジョンを単にキャッチフレーズとせず、達成するための目標として具体的な姿を付記することを想定
- これにより具体的行動につながり、達成状況のモニタリングが可能になる

(案)

伊勢志摩国立公園ビジョン検討のための関係者・団体アンケート調査 回答用紙 (案)

今回のアンケート調査の「ねらい」を簡潔に表現しますと以下のとおりです。

どうぞ率直なお考えをご回答いただきますようお願いいたします。

- ①ビジョン検討に資するため、国立公園関係者の10～20年程度を振り返っての評価（現状の満足度）を明らかにする
- ②ビジョン検討に資するため、ビジョンに盛り込むネタとして、国立公園関係者の思いを広く収集する

《過去の10年、20年の振り返りについて》

1. (全員：個人的意見 OK)

伊勢志摩国立公園の自然資源、人文資源、観光施設、その利用状況、地域の人々の認知度等について、10年前(2016年)～20年前(2006年)からの変化を踏まえ、該当に○をつけてください。また、その理由を教えてください。

1.1. 自然資源の状態 (※) 【満足—やや満足—どちらでもない—やや不満足—不満足】

理由：

※自然資源：リアス海岸、自然海岸（砂浜・磯・干潟）、海、島、常緑広葉樹林、動植物、温泉、星空、気候など

※理由の例：○○展望台から変わらず美しい景観が見られる。磯焼けで豊かな海藻・海草が見られなくなった。ハマユウなどの海岸植物があまり見られなくなった。アカウミガメの産卵があまりみられなくなった。砂浜がやせて遊ぶのが難しくなった。海岸にゴミが多い。など

1.2. 人文資源の状態 (※) 【満足—やや満足—どちらでもない—やや不満足—不満足】

理由：

※人文資源：里海（沿岸海域）、里地里山（集落周辺）、集落景観、祭り、風習、食、産業、社寺等文化的建造物など

※理由の例：磯では今でも海女さんが潜る様子が見られる。入江の景観として定着していた養殖筏が減った。耕作放棄地が増え、太陽光発電施設が増えて里山の風景が一変した。地元食材を自家消費する意識が高くなった。地元食材が手に入らなくなり郷土料理が各家庭で食べられなくなった。など

1.3. 観光施設・宿泊施設等 (※) 【満足—やや満足—どちらでもない—やや不満足—不満足】

理由：

※観光施設・宿泊施設等：案内施設、歩道、園地、宿泊施設、休憩施設、ビジターセンター、水族館、レジャー施設など

※理由の例：案内板の多言語化が進んでいる。サインが老朽化している。休日は○○の駐車場が満車となり渋滞が発生するようになった。○○～○○間の歩道が崩落して通れなくなった。外国語対応の案内ができるところが増えた。飲食店や宿泊施設で地元食材を使用した料理が提供されるようになった。など

(案)

1.4. 運輸交通関係 (※) 【 満足－やや満足－どちらでもない－やや不満足－不満足 】

理由：

※運輸交通関係：JR、近鉄、バス路線、高速道路、伊勢志摩スカイライン、パールロード、大型クルーズ船、タクシー

※理由の例：バスの本数が増えた。パーク&バスライドの影響で渋滞が緩和された。定期船の航路が減った。駅の利用者数が増えている。パールロードで路上駐車が目立つ。多言語案内が増えてインバウンドの問い合わせが減った。など

1.5. 自然・文化資源の利用状況 (※) 【 満足－やや満足－どちらでもない－やや不満足－不満足 】

理由：

※利用状況：地域への来訪者数、来訪者の属性、自然・文化体験活動の実施状況、来訪者の満足度

※理由の例：〇〇でインバウンドの人をよく見かけられるようになった。コロナ後の回復は思わしくない。来訪者が上質な自然・文化体験できるところが増えた。地元子どもたちが自然の中で遊ぶ機会が減っている。実際に体験できることが増え訪問者の満足度は高まっていると思う。など

1.6. 地域の伊勢志摩国立公園に対する認知度の向上 (※)

【 かなり上がった－やや上がった－変化なし－やや下落した－かなり下落した 】

理由：

※地域の人の認知度：国立公園であるという認識があるか、国立公園を価値あるものとして認識しているか、国立公園を価値あるものとして利用・活用しているか、国立公園の価値を高める活動をしているか、持続可能な取り組みをしているか

※理由の例：訪問者に対して国立公園の魅力を伝えるプログラムが増えた。国立公園をブランドとして商品販売しているところが増えている。国立公園で暮らすことに魅力を感じている人が増えている。国立公園を持続可能な形で利用しようとする人が増えた。

1.7. その他

(案)

2. (全員。個人的意見 OK)

最近 (ここ 10 年くらい) の取組で、伊勢志摩地域で実施され良い結果が得られたと思う取組を教えてください。(自身の取組でも、他者の取組でも OK です)。**【該当するものに○をつけ、具体については枠内に記入してください。複数回答可】**

(選択肢)

【 交通アクセスの充実、ビジターセンター等拠点施設の機能強化、景観改善、エコツーリズムの推進、ワーケーションの推進、案内機能の充実、看板・ユニバーサルデザイン等利便性の向上、環境配慮型受入環境づくり、利用拠点施設の充実、海女文化の保存・継承、広域連携の取組、環境保全、その他 】

その他・具体事例記入欄：

3. (行政・DMO 等の方)

10 年前 (2016 年) ～20 年前 (2006 年) の間にあなたの所属する組織が作成した基本計画や観光戦略、生物多様性、景観等の未来に向けた計画と、その達成度合いや課題・成果等について教えてください。達成度合いについて立場上コメントしにくい事情がありましたら、計画等をお送りいただく形でもかまいません。また、次期計画を作成中等でしたら、そこで立案している内容に関してご教示ください。**【複数回答可】**

計画名	達成度 (※)	成果・課題 (※)

※達成度：4段階 (1：100%達成 - 2：80%以上達成 - 3：60%以上達成 - 4：60%未満)

※成果・課題の例：観光客の誘致の点で新型コロナウイルス感染等の事情により達成できなかった。○○保全の市民活動は●件から●件に増加し、活性化している。

※ビジョンや基本計画など、未来に関する方針や計画が記載された資料や HP 等ありましたら教えてください。公表されている場合、その URL をご記載ください。ご送付可能なファイルはメールで事務局 (株) 一成へお送りください。

(案)

《伊勢志摩国立公園のビジョンについて》

10年後（2036年）や20年後（2046年）の伊勢志摩地域を想像してください。

4. （全員。個人的意見 OK）

あなた自身が組織や肩書きに関係なく伊勢志摩地域にかかわる一人として考えている、10年後、20年後までに改善又は変化を期待する点を教えてください。【該当するものに○をつけ、どう変えたいかを枠内に記入してください。複数回答可】

（選択肢）

自然資源：【 リアス海岸、自然海岸（砂浜・磯・干潟）、海、島、常緑広葉樹林、動植物、温泉、星空、

その他（ ） 】

人文資源：【 里海（沿岸海域）、里地里山（集落周辺）、集落景観、祭り、風習、食、産業、社寺等文化的建造物、

その他（ ） 】

観光施設・受入施設等：【 案内施設、交通、道路、歩道、園地、宿泊施設、休憩施設、ビジターセンター、水族館、

レジャー施設、その他（ ） 】

利用状況：【 地域への来訪者数、来訪者の属性、自然・文化体験活動の実施状況、来訪者の満足度、

その他（ ） 】

地域の人の認知度：【 国立公園であるという認識、国立公園の価値の認識、国立公園の価値の利用・活用、

国立公園の価値向上、その他（ ） 】

どう変えたいかの記入欄：

※記入例：干潟等環境を再生し生き物の生息環境を改善する。御食つ国を感じられる豊かな海の幸が戻る。耕作放棄地を体験農園等活用し放棄地を減らす。観光客・インバウンドを増やす。観光客に限らず交流人口を増やす。廃屋を撤去し景観改善を行う。空き家を活用して活性化する。地元子どもたちが自然の中で遊ぶ。地元子どもたちが地域に残って暮らす選択肢がある。持続的な漁業ができるよう人材育成を行う。伊勢志摩の魅力・価値が伝わりブランド力が高まる。訪れたい・住みたい地域にする。

5. （全員。個人的意見 OK）

あなた自身が組織や肩書きに関係なく伊勢志摩地域にかかわる一人として考えている、10年後、20年後までに変えたくない点、未来へ引き継ぎたいものを教えてください。【該当するものに○をつけ、理由を枠内に記入してください。複数回答可】

（選択肢）

自然資源：【 リアス海岸、自然海岸（砂浜・磯・干潟）、海、島、常緑広葉樹林、動植物、温泉、星空、

その他（ ） 】

人文資源：【 里海（沿岸海域）、里地里山（集落周辺）、集落景観、祭り、風習、食、産業、社寺等文化的建造物、

その他（ ） 】

観光施設・受入施設等：【 案内施設、交通、道路、歩道、園地、宿泊施設、休憩施設、ビジターセンター、水族館、

レジャー施設、その他（ ） 】

利用状況：【 地域への来訪者、来訪者の属性、自然・文化体験活動の実施状況、来訪者の満足度、

その他（ ） 】

地域の人の認知度：【 国立公園であるという認識、国立公園の価値の認識、国立公園の価値の利用・活用、

国立公園の価値向上、その他（ ） 】

(案)

理由の記入欄：

※記入例：リアス海岸が織りなす里海と常緑樹が入り組む景観や、海から見る山並みといった自然景観は当地の唯一無二の宝であり、未来に残したい。複雑な地形のリアス海岸を擁する海と常緑樹の森が、豊かな海の生き物を育み、御食つ国が生み出されたから。豊かな海を礎として発達した海女文化は、伊勢志摩らしさであるから。祭りは自然と調和した人々の暮らしの中で育まれた文化だから。観光客でにぎわい、自然体験で癒されるという利用価値を残したい。など。その他、自然景観、生物多様性、産業、観光、暮らし、文化など、ご自由に記載ください。

6. (全員。個人的意見 OK)

上記①、②の達成にあたり、あなた自身又は、あなたの所属する組織が貢献可能なことはありますか。【該当するものに○をつけ、具体については枠内に記入してください。複数回答可】

(選択肢)

【 交通アクセスの充実、ビジターセンター等拠点施設の機能強化、景観改善、エコツーリズムの推進、ワーケーションの推進、案内機能の充実、看板・ユニバーサルデザイン等利便性の向上、環境配慮型受入環境づくり、利用拠点施設の充実、海女文化の保存・継承、広域連携の取組み、環境保全、その他 】

その他・具体事例記入欄：

例：ガイドで伊勢志摩の自然について発信する。インバウンド対応について学べる講習会に参加する。自然環境の保全活動に参加する。保全活動を含む観光コンテンツを開発する。など

《その他》

7. (全員。個人的意見 OK)

その他、ご意見やアイデアなどあれば、自由にご記載ください。

8. 回答者属性 (該当に○をつけてください)

年齢：【 10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代 】

職業：【 農林漁業・飲食業・宿泊業・旅行業・観光業・研究者・団体職員・行政職員・その他 () 】

性別：【 男性・女性・その他 】

(案)

伊勢志摩国立公園ビジョン検討のためのワークショップメンバー推薦用紙 (案)

伊勢志摩国立公園ビジョンは、ワークショップにより検討を重ねて案を作成する予定です。

検討に当たって新しい視点を取り入れたいため、検討メンバーには『伊勢志摩の未来を考えて強い信念を持って取り組んでいる』『伊勢志摩の将来を担う人』に入っていたきたいと考えております。

地域協議会構成員の皆様におかれましては、日頃のネットワークや情報を活用いただき、ワークショップメンバーとして伊勢志摩国立公園ビジョンと一緒に考えていただける『伊勢志摩の未来を考えて強い信念を持って取り組んでいる』『伊勢志摩の将来を担う人』を推薦いただきますようお願いいたします。

なお、被推薦者は、貴所属団体等の職員でも、そうでなくても結構ですので、地域のことを考えて検討いただける方を、地域協議会構成員として推薦いただきますようお願いいたします。できましたらどなたか推薦いただけるとありがたいのですが、該当する方がいらっしゃらない場合にはその旨ご回答ください。

どうぞよろしく願いいたします。

(被推薦者)

名前 (ふりがな) :

所属団体・会社・役職等 :

主な取組 :

※推薦者 10 名程度 + 幹事会構成員所属の若手職員等によるメンバー構成を想定しています。

※事務局で取りまとめ、メンバーの決定は幹事会に一任いただく事をご了承くださいませ。

※12月までに4回程度(半日~1日/回)のワークショップ(対面又はオンライン)を実施します。参加者の旅費等は自己負担となります。

※ワークショップは参加する方の意見が活発にできるような楽しいものとなるよう、場所や時間帯、雰囲気作りを工夫しようと考えております。(例:屋外や普段入れないような場所、有料施設内など)これについてアドバイスやこんなところが使える、といったご提案があればお願いします。

(推薦者)

所属団体・会社・役職等 :

名前 :